

地方創生・DX推進対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和4年11月1日（火）～2日（水）

2 調査の概要

11月1日（火）

(1) 愛知県議会（愛知県名古屋市）

調査事項：DX推進の取組状況について

愛知県では、デジタル技術などを習得し業務の効率化につなげることを目的に、県と市町村の職員を対象にデジタル人材を育成するDX特別研修を実施している。県と市町村職員が合同でDX研修を実施するのは全国的にも例がなく、グループワークなどの研修を通じて職員の交流促進も狙いの一つとしている。

また、地域の経済団体、大学、金融機関、行政等が一体となって連携し施策を展開する「あいち産業DX推進コンソーシアム」を設立して、従来は個別に実施していた施策を連携・協力して取り組み、県内中小企業のデジタル化の推進等を実施している。

については、今後の委員会活動の参考とするため、愛知県を訪問し、DX推進の取組状況について調査を行った。



(2) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー（静岡県浜松市）

調査事項：浜名湖一周サイクリング「ハマイチ」の取組状況について

浜松・浜名湖ツーリズムビューローでは、浜名湖一周サイクリング「ハマイチ」の推進に取り組まれており、毎年、春の季節にはサイクリングイベントを開催している。このイベントは時間やスピードを競うものではなく、小学生以上であれば誰でも参加することができ、「ハマイチ」に親んでもらえることを目的として開催されている。また、国内外の自転車メーカーの新型モデルが試乗できるイベントを開催するなど、様々な取組をされている。

については、今後の委員会活動の参考とするため、浜松・浜名湖ツーリズムビューローを

訪問し、「ハマイチ」の取組状況および浜名湖のサイクルコースについて調査を行った。



11月2日（水）

(3) 川崎市議会（神奈川県川崎市）

調査事項：子どもの権利に関する条例について

「川崎市子どもの権利に関する条例」は2000年12月21日に川崎市議会において全会一致で可決成立し、2001年4月1日から施行されている。

この条例は、全国で初めての子どもの権利に関する総合的な条例であり、条例策定にあたっては、市民集会や子ども会議を開催するなど、子どもを含む市民参加による条例づくりを行われた。

については、今後の委員会活動の参考とするため、川崎市を訪問し、子どもの権利に関する条例について調査を行った。

